

資料 2

【最近の小型船舶による海難事故等の状況】

9月6日

下津井漁港田浦地区を船長1名が漁船に乗船のうえ出港し、櫃石島周辺海域で底びき網漁業を操業中、病気により誤って海中転落した。

同漁船は無人のままの状態に漂流し櫃石島東側にて発見されたもの。

同漁船の船長は、海上保安庁巡視艇及び航空機により捜索したところ漂流している船長を発見し救急車に引き渡すも死亡が確認された。

9月8日

午後5時50分ごろ、高松市の男木島沖で作業船「かいりゅう」（19トン）とタンカー錦陽丸（388トン）が衝突、「かいりゅう」が転覆した。

乗っていた2人は錦陽丸などに救助された。タンカーに積み荷はなく、油の流出はない。

9月18日

浜田儀漁港を出港したプレジャーボートが魚場移動する際、エンジンを起動させようとしたところ、起動しなかった。救助の要請を受けた海上保安庁の巡視船が急行し曳航救助した。

9月22日

島根県隠岐郡隠岐の島町北西約41キロで漁船から乗組員が海中転落した。海中転落者は海上保安庁の巡視船・航空機、漁船、水産庁の取締船により捜索を行ったが発見に至らなかった。

10月8日

船長1名が漁船に乗船し出港したまま、通常帰港して来る時刻になっても帰港してこないことから、僚船により捜索したところ、広島の南西海域にて無人で漂流中の該船を発見した。

海上保安庁の巡視艇及び航空機により船長の捜索を行うも発見に至っておらず。